

令和4年度 岡崎市水道事業会計

よくわかる決算書



水道がよくわかるで「J」なる

岡崎市上下水道局×オカザえもん

目次

1 決算書とは？	1
まずは、財務三表それぞれの役割について説明するよ！	2
2 経営成績はどうだったの？	3
水道事業の概況を見てみよう！	3
損益計算書の収入を見てみよう！	4
次に、支出の内容を見てみよう！	5
「減価償却費」と「長期前受金戻入」を知ろう！	6
損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！	7
損益計算書に載らない「支出」と「収入」を知ろう！	8
「資本的支出」（＝損益計算書に載らない「支出」）を見てみよう！	9
「資本的収入」（＝損益計算書に載らない「収入」）を見てみよう！	10
「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！	11
まとめ.....	12
3 「補填財源」の動きを見てみよう！	13
4 水道事業が置かれている現状を見てみよう！	14
5 財務三表の解説	16
【図解】 損益計算書	16
【図解】 貸借対照表	17
【図解】 キャッシュ・フロー計算書	18
よくわかる決算書 用語解説	19

1 決算書とは？

岡崎市水道事業では公営企業会計を採用しています。

公営企業会計では民間企業のように複式簿記を使って記帳を行います。
その記帳の内容を取りまとめたものが「決算書」になります。

決算書は、4月1日から翌年の3月31日までの1年間の経営成績と財政状態について、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書（財務三表と呼びます）などの決算書類で表しています。

ただ、この書類は初めて見る人には少し難しい内容です。
そのため、使用者のみなさんに決算書に書かれていることを分かりやすくお伝えし、岡崎市の水道事業がどのような経営状況なのかを少しでも知っていただけるよう決算書の概要版を作成しました。

決算書を見たでござるが、見慣れない言葉が多くてよく分からないでござる…。



岡崎市のご当地キャラクター
オカザえもん



岡崎市水道マスコットキャラクター
スイットくん

ボクが決算書の内容を分かりやすく説明するよ！

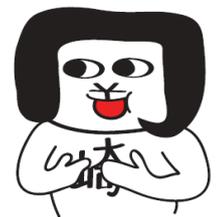
まずは、財務三表それぞれの役割について説明するよ！



損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書を合わせて財務三表と呼ぶんだ！

それぞれ役割があって、さまざまな角度から水道事業の経営状況を把握できるようになっているよ！

経営状況と言いますと、やはり「儲かったか？」ということでござるか？



「儲かったか？」も大事な情報だね！

他にも、「浄水場などの資産や、返さなきゃいけないお金である負債がどれくらいあるか？」といった情報や、

「現金を増やすことができたか？」といった情報も経営状況をみる上で大切なんだ！

「儲かった」と「現金が増えた」は違う情報でござるか…？



おっ！とっても鋭い質問だね。実はその2つは違う情報なんだ！！この「わかりやすい決算書」で、その違いを詳しく説明していくよ。



ここではひとまず財務三表それぞれの役割を抑えよう！！

損益計算書が「儲かったか」、
貸借対照表が「資産、負債、資本の状況」、
キャッシュ・フロー計算書が「現金が増えたか」

をあらわす書類なんだ！！

次のページから、「損益計算書」を中心に経営状況を解説していくよ！

※水道事業における「儲け(利益)」はすべて、施設の更新や借入金の返済に使われます。健全な運営を続けるために必ず確保しなければなりません。

2 経営成績はどうだったの？

水道事業の概況を見てみよう！

1 水道の給水件数

項目	令和4年度	令和3年度	前年度からの増減
給水戸数 (戸)	168,330	166,769	1,561
給水人口 (人)	383,470	384,658	△ 1,188



「給水戸数」は、水道の給水契約の対象となっている戸数のことで、前年度から1,561戸増えたよ！

「給水人口」は、水道水の給水を受けている人口のことで、前年度から1,188人減ってしまったんだ。

2 水道水の使用量

項目	令和4年度	令和3年度	前年度からの増減
有収水量 (m ³)	39,991,999	40,699,726	△ 707,727



みんなの水道の使用量を合計したものを「有収水量」と言うんだ！

おうちで使われる水の量が減ったことで、前年度と比べて707,727m³のマイナスになったよ。

3 令和4年度決算の特徴

3-1 水道料金基本料金の減額

(税抜)

項目	令和4年度	令和3年度	前年度からの増減
水道料金減額 (億円)	4.9	4.8	0.1



新型コロナウイルス感染症拡大に伴う市民生活及び経済活動の支援策として、前年度から引き続き水道料金基本料金の減額を行ったんだ！

減額で減ってしまった収入は、岡崎市から税金をもらうことで補っているよ。

3-2 純利益の減少

(税抜)

項目	令和4年度	令和3年度	前年度からの増減
純利益 (億円)	7.8	24.0	△ 16.2
引当金戻入益 (億円)	0.0	16.7	△ 16.7



水道事業の1年間の儲けを「純利益」と言うんだ！

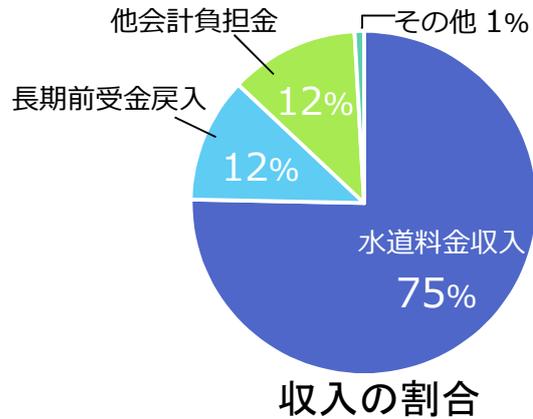
前年度と比べて16億2千万円減少したよ。

これは、令和3年度に使用が見込まれない「引当金」をすべて取り崩して「引当金戻入益」として計上する特別な会計処理を行ったことによる影響なんだ！

経営状況が急激に悪くなったわけじゃないから心配ないよ！

損益計算書の収入をしてみよう！

内容	金額 (円)
水道料金収入	5,703,363,455
長期前受金戻入	887,961,483
他会計負担金	912,383,395
その他	66,543,681
合計	7,570,252,014



水道事業は、みんなが支払う「水道料金」で経営しているんだよ！！

むむっ！？

しかし、「収入」には、「水道料金」のほかに「他会計負担金」や「長期前受金戻入」がありまするが…。これは何でござるか？



よく気が付いたね！

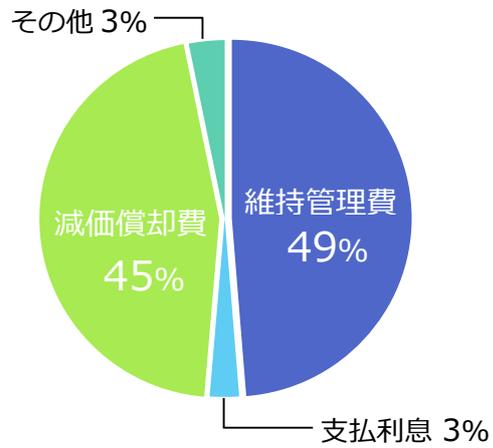
「他会計負担金」は、本来、岡崎市（水道事業は岡崎市から独立しているよ！）や下水道事業が行う業務を水道事業が代わりに行ったときに、その分の費用を負担してもらうお金のことだよ！

例えば、消火栓を修繕する費用や、下水道使用料を徴収する費用のことなんだ！

「長期前受金戻入」は難しいから、もう少しあとで説明するね。

次に、支出の内容を見てみよう！

支出（損益計算書）	(税抜)
内容	金額（円）
いじかんりひ 維持管理費	3,306,591,435
しはらいりそく 支払利息	177,581,384
げんかしょうきやくひ 減価償却費	3,086,400,509
その他	216,753,194
合計	6,787,326,522



支出の割合

「維持管理費」とは具体的には何でござるか？



川の水や地下水をきれいにする浄水場や、みんなの家まで水道水を運ぶためにいったん水を貯めておく配水場の電気代や薬品費、水道の仕事をしている職員の給料などが「維持管理費」に含まれているよ！

それでは「支払利息」とは何の利息でござるか？



施設を作るときに借り入れたお金の利息になるんだけど、毎年、約2億円もあるんだよ。

もう一つの「げんかしょうきやくひ」は、拙者にはさっぱりわかりませぬ…。



「減価償却費」は、「長期前受金戻入」とセットで考えると分かりやすいから、次のページでまとめて説明するね！

「減価償却費」と「長期前受金戻入」を知ろう！



損益計算書には、1年間にかかった費用を載せるという決まりがあるんだ！

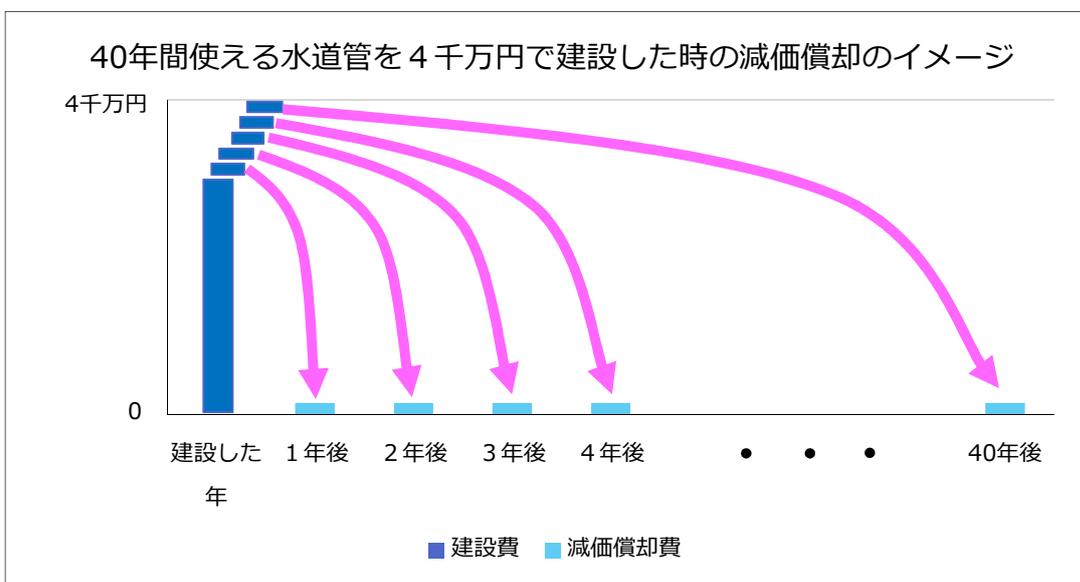
水道管などの施設は長い間使えるよね。

だから作った年に全額を費用にするんじゃなくて、その施設が使える年数で少しずつ費用にする必要があるんだ。

これを「減価償却費」というよ！

作った年にお金の支払いは済んでいるんだけど、全部が費用になるのはずーっと先になるんだよ。

じゃあ、次に減価償却をイメージした表を見てみよう！



建設した年に4千万円を支払ってありますが、40年間かけて少しずつ費用として毎年損益計算書に載せているのでござるな。
お金を支払ったものが全て損益計算書に載っているわけではないことが分かったでござる。
それでは、「長期前受金戻入」とはどういったものでござるか？



「長期前受金戻入」っていうのは、「減価償却費」の収益版だよ。

水道事業は施設の建設の時に愛知県から補助金をもらったり、水道を使用する人から分担金をもらったりしているんだけど、そのお金も施設が使える年数に合わせて収益にしているんだ！



この2つの会計制度は、この後もとっても重要になるから覚えておいてね！
じゃあ、次のページで損益計算書から分かることを見ていこう！

損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！

収入－支出＝純利益（純損失）	782,925,492円
----------------	--------------



7億8千万円のプラスだね。

「収入」から「支出」を引いたものがプラスだと「純利益」、マイナスだと「純損失」と呼ぶんだよ！

黒字、赤字って言うとわかりやすいかな？

損益計算書から分かるのは、水道事業が黒字だったか赤字だったかってことなんだ！

7億8千万円も黒字なら水道事業の経営は安泰でござるな！

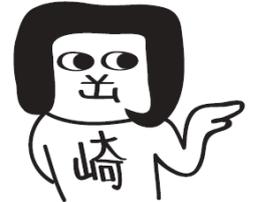


そのとおり！！…と言いたいところなんだけど…。

実は、損益計算書には載っていない「支出」と「収入」があるんだ！！

先ほど見た損益計算書の「支出」と「収入」で全部ではないのでござるか！

それはもしかして、「減価償却費」や「長期前受金戻入」と関係しているのでござるか？



するどいね！

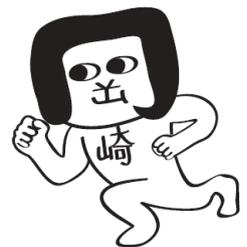
水道管の建設費のように、実際に現金の「支出」や「収入」をしても損益計算書に載らない項目があるんだ！

そうした「支出」や「収入」もしっかりと把握する必要があるよ！

こういった今年度に「支出」や「収入」をしているけれど、性質上、損益計算書に載らないものをそれぞれ、

「しほんてきししゅつ資本的支出」、「しほんてきしゅうにゆう資本的収入」というんだ！

どうして損益計算書に載らないのか、詳しく教えてください！



損益計算書に載らない「支出」と「収入」を知ろう！

損益計算書には、1年間の費用と収益を載せるのでござりましたな！



そのとおり！

それに対して「資本的支出」と「資本的収入」は、資産の取得や更新（改良）に関わる資本の取引を集計しているんだ。

資本の取引には、費用と収益は関係ないでござるか？



そうなんだ！

例えば…

水道管を更新するとき⇒工事勘定（資産）/現金（資産）

借金の借入をするとき⇒現金（資産）/借入金（負債）

となるから、損益計算書で表示する費用や収益の勘定は経由しないんだ。だから、損益計算書に載ることなく取引が行われていくんだよ！



損益計算書に載っている勘定に関係ない取引もあるのでござるな！

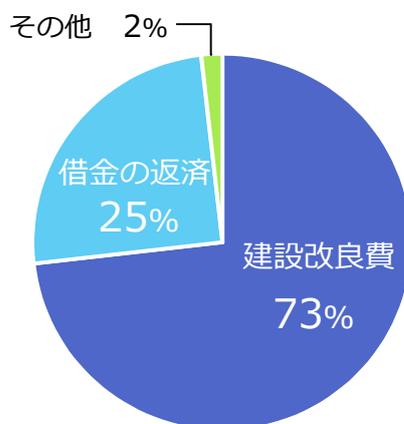


次のページからは、それらの「支出」と「収入」を見ていこう！



「^{しほんてきししゅつ}資本的支出」 (= 損益計算書に載らない「支出」) を見てみよう!

資本的支出 (税抜)	
内容	金額 (円)
建設改良費	4,061,308,154
借金の返済	1,386,588,738
その他	100,000,000
合計	5,547,896,892



資本的支出の割合



「建設改良費」は施設の建設費のことだよ。
 施設の建設には41億円もかかっているんだ!!
 あとは、施設を建設する時に借りた借金を返すお金も損益計算書には載っていないよ。

損益計算書に載っていない「支出」が55億円もあるのでござるか…。
 まさか、損益計算書に載っていない「支出」がこんなに大きいとは思わなかったでござる。



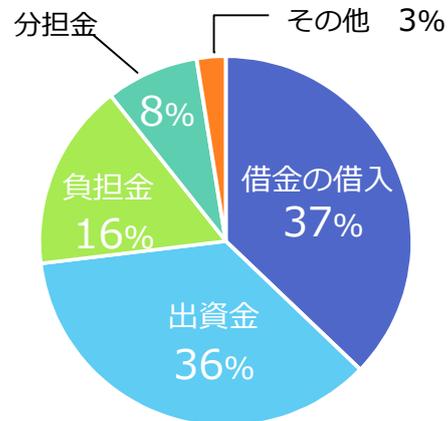
そうなんだよ!
 水道事業では施設の建設や更新に多くの支出が使われているから、「資本的支出」がとても大きいんだ。
 だから、損益計算書に載っていない「支出」もしっかり見なきゃいけないんだよ!



じゃあ次は損益計算書に載っていない「資本的収入」について見ていこう!
 こっちも「資本的支出」と同じくらい大きな金額なら心配なさそうだね。

「^{しほんてきしゅうにゅう}資本的収入」 (= 損益計算書に載らない「収入」) を見てみよう!

資本的収入 (税抜)	
内容	金額 (円)
しゃっきん かりいれ 借金の借入	964,000,000
しゅっしきん 出資金	930,088,581
ふたんきん 負担金 (※)	423,328,643
ぶんたんきん 分担金	209,450,000
補助金 (※)	65,108,216
合計	2,591,975,440



※消費税の計算上生じる雑支出を引いていますので、決算書の数値と一致しません。

資本的収入の割合



「借金の借入」も借金の返済と同じく損益計算書には載っていないよ!
「出資金」は、大きな地震がきても安心安全な水道水を配るための耐震化事業や、令和2年度に水道事業へ統合された「簡易水道事業」の施設を建設するために、岡崎市からもらっているお金だよ。

岡崎市からの「出資金」ということは、税金が投入されているのでござるか?



鋭いね! 「出資金」は税金だよ。

地震のような自然災害への対策はとってもお金が必要だから、水道料金だけではなかなか進められないんだ。

だから税金をもらっているよ!

あと、令和2年度に水道事業に統合した簡易水道事業は、水道を使っている人が少ない地域を対象としていて、どうしても経営が厳しくなってしまうんだ。

そこで、経営を安定させるために、岡崎市から「出資金」をもらうことになったんだ!



じゃあ最後に、損益計算書で純利益(純損失)を計算したように、「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう!



「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！

資本的収入－資本的支出

-2,955,921,452円

29億6千万円の赤字！？

いったいどうやって施設の建設をしているのでござるか…？



この赤字分も損益計算書の「収入」で補わなくちゃいけないんだ。

損益計算書の「収入」で補うのでござるか…？

しかし損益計算書の「収入」は、「維持管理費」や「減価償却費」で使ってしまったって7億8千万円しか余っていないでござるよ！



すごい！よく覚えているね！！

水道料金などの「収入」から維持管理費や減価償却費などの「支出」を引いた残りが純利益だったね。

ここで問題なのが、「減価償却費」と「長期前受金戻入」なんだ。

この2つの費用と収益は、最初の1年目に現金の支出や収入を行っているから、今年度はお金が使われていない費用や収益なんだ。

だから、損益計算書の純利益を考えるときには、水道料金などの収入から「減価償却費」を引いたけど、実際には、その分のお金が手元に残っているんだよ。

逆に「長期前受金戻入」は、むかし貰った「補助金」などのうちの今年度分を計上しているだけだから、お金の動きを考えるとときには引かなきゃいけないんだ！



「減価償却費」は、むかし支払った「建設改良費」のうちの今年度分を計上しているだけだから、実際には現金の支払いはないのでありますな！

それならこのお金は、「資本的収入－資本的支出」の赤字を埋めるのに使えるでござる！



まとめ



ここまでの話をまとめよう！！

「資本的収入－資本的支出」の赤字額は29億6千万円。

損益計算書上の純利益（黒字額）は7億8千万円。

損益計算書で支出に計上したけど使えるお金（減価償却費分）は30億9千万円。

損益計算書で収入に計上したけど使えないお金（長期前受金戻入分）は8億9千万円。

全てを足し引きすると下の計算式のようになるよ！！

資本的収入－資本的支出	-2,955,921,452	円
損益計算書上の純利益（黒字額）	+ 782,925,492	円
減価償却費	+ 3,086,400,509	円
長期前受金戻入分	- 887,961,483	円
	25,443,066	円

計算結果がプラスということは、「資本的収入－資本的支出」の赤字分を補うことができたのでござるな！



そうだね！

そして、今年は3千万円ほど使えるお金が増えたんだ。

このお金は「^{ほてんざいげん}補填財源」と呼ばれているよ。

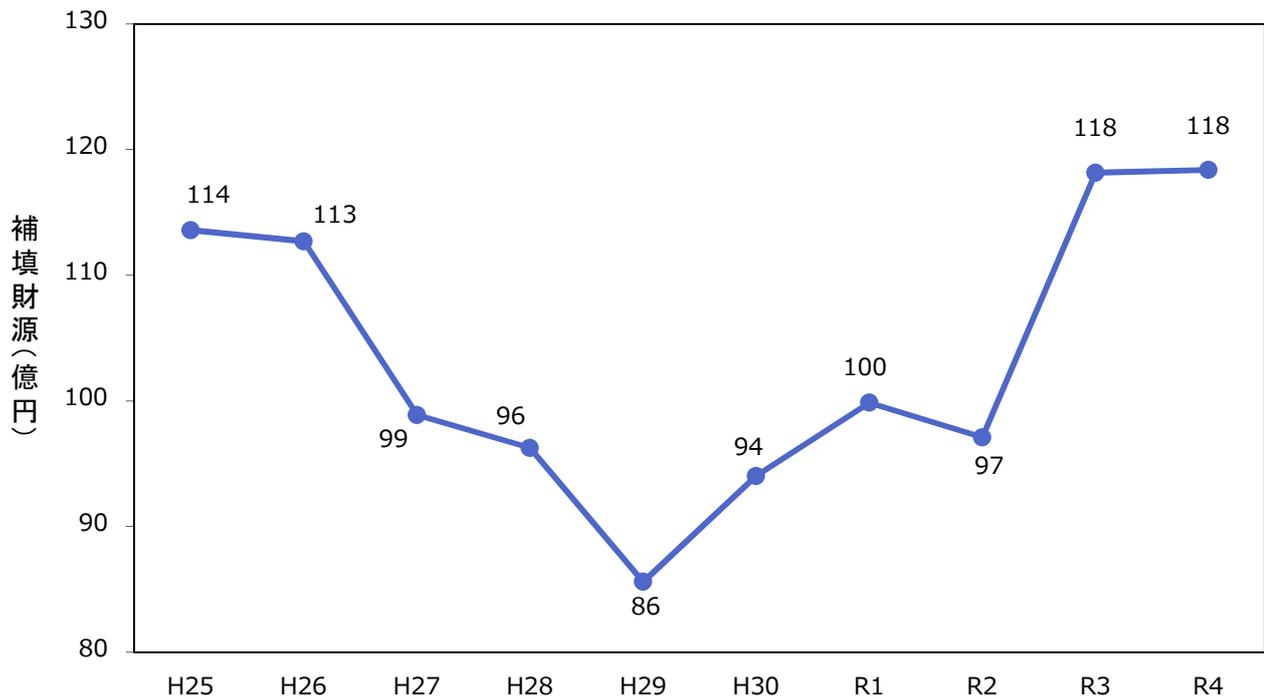
これまでに生じた利益などは「補填財源」として管理されていて、今後の建設費や、赤字が出たときに使えるお金になるんだよ！

損益計算書で黒字が出ているから安心！というわけじゃなくて、「資本的収入」と「資本的支出」の結果も見なければいけないのでござるな！

「補填財源」が今どれくらいあるのか教えてほしいでござる！

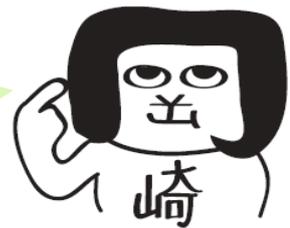


3 「補填財源」の動きを見てみよう！



「補填財源」の10年間の動きを見てみると、80億円以上で推移していることがわかるね。

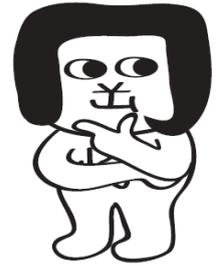
今は120億円ぐらい「補填財源」があるでござるな！
これが多いか少ないか、桁が大きすぎて分からないでござる…。



さっき、「補填財源」は今後の建設費や赤字が出た時の補填に使えるお金と言ったんだけど、水道事業はこれからたくさんの建設費が必要な状況なんだ！水道事業が置かれている現況を見てみよう！

4 水道事業が置かれている現状を見てみよう！

水道管は、一度入れたらずっと使えるでござるか？



水道管は古くなると壊れやすくなるから、そのままとみんなに水道水を配れなくなってしまう可能性があるんだ。だから古くなった水道管は交換しないといけないよ。でも、水道管の交換にはかなりの費用がかかるから、一度入れた水道管はなるべく長く使えるように、使う年数の目標（目標耐用年数）を定めたんだ！

水道管の耐用年数表

項目	目標耐用年数	項目	目標耐用年数
鋳鉄管（CIP）	40	ポリエチレン管（融着）	60
ダクタイル鋳鉄管（DIP）	60	ポリエチレン管（融着以外）	60
ダクタイル鋳鉄管（DIP）+ポリスリーブ	80	塩ビ管	40
鋼管（SUS含む）：溶接継手	60	ヒューム管	40
鋼管：ねじ切り接合	60		



水道管は材質によって壊れやすくなる年数が違うんだ！材質ごとに細かく分類して、なるべく長く使える工夫をしたよ！それでも、古くなった水道管などの交換費用は、これまで実際に行ってきた年間27億円に対して、年間43億円も必要になる計算なんだ。

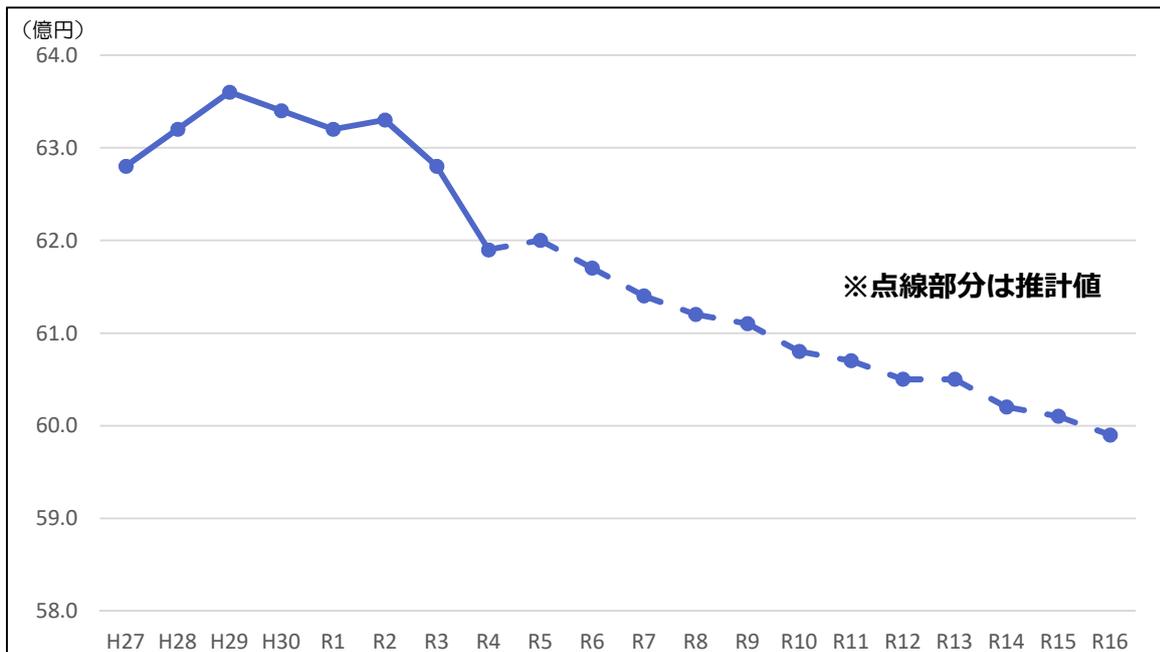
今後の施設更新需要



水道の安全を保つには、プラス16億円かかるでござるか。お金は大丈夫でござるか。



給水収益の推移



節水機器の機能向上等で水道の収入は年々減っているんだ。
 今後は、人口の減少でもっと減ることが想定されているよ。

それは大変でござる！
 やらなきゃいけないのに、収入が減る…。
 水道事業はどうなるでござるか…！



このままでは古い水道管がさらに増えていくよ。
 でも大丈夫！
 将来をしっかりと見据えた計画をたてて、手遅れになる前に手を
 打っていくよ！！

水道は生活に最も身近で重要なライフラインだから、ずっと水道が
 使えるようにみんなで考える必要があるでござるな！



5 財務三表の解説

【図解】損益計算書（決算書P10～11）

損益計算書は、ある一定期間における企業の経営成績を明らかにするため、その期間中に得たすべての収益、これに対応するすべての費用、最終的な損益を記載する報告書です。

★損益計算書から分かること

損益計算書からは、どのような経営活動によって、どれだけの経営成績を上げたかを知り、それに基づいて過去の経営を分析し、また、将来の方針を立てることができます。

★注目ポイント

①営業損失

本業による損益が分かる！

水道事業の本業は、きれいな水を作って、みなさんにお届けすることです。水をきれいにする費用や、みなさんからいただいた水道料金収入等の、主たる営業活動の結果を示しています。

②経常利益

経営活動から生じた損益が分かる！

本業に関する損益に加えて、国や県の補助金、一般会計からの繰入金(税金)による収入や、益の結果を示しています。

③当年度純利益

最終的な損益が分かる！

1年間のすべての損益の結果を示しています。

3つの方法で損益を把握します
 $\text{損益} = \text{収益} - \text{費用}$



プラスなら利益が出ている！
 マイナスなら損失が出ている…



2 令和4年度岡崎市水道事業損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位 円)

1	営業収益			
	(1)給水収益	5,703,363,455		
	(2)受託工事収益	5,164,006		
	(3)その他営業収益	222,250,386	5,930,777,847 (ア)	
2	営業費用			
	(1)原水及び浄水費	2,109,251,368		
	(2)配水及び給水費	587,421,676		
	(3)受託工事費	581,175		
	(4)業務費	375,117,597		
	(5)総係費	234,219,619		
	(6)減価償却費	2,825,859,559		
	(7)資産減耗費	413,146,826	6,545,597,820 (イ)	
	営業損失		614,819,973 (ウ) = (ア) - (イ)	
3	営業外収益			
	(1)受取利息及び配当金	7,993,146		
	(2)他会計負担金	55,089,460		
	(3)長期前受金戻入	887,961,483		
	(4)資本費繰入収益	107,166,911		
	(5)雑収益	25,976,804		
	(6)他会計補助金	535,778,838		
	(7)引当金戻入益	18,696,176	1,638,662,818 (エ)	
4	営業外費用			
	(1)支払利息及び企業債取扱諸費	177,581,384		
	(2)雑支出	59,119,953	236,701,337 (オ)	1,401,961,481 (カ) = (エ) - (オ)
	経常利益		787,141,508 (キ) = (ウ) + (カ)	
5	特別利益			
	(1)固定資産売却益	0		
	(2)過年度損益修正益	811,349	811,349 (ク)	
6	特別損失			
	(1)過年度損益修正損	5,027,365	5,027,365 (ケ)	△ 4,216,016 (コ) = (ク) - (ケ)
	当年度純利益		782,925,492 (サ) = (キ) + (コ)	
	前年度繰越利益剰余金		0	
	その他未処分利益剰余金変動額		500,000,000	
	当年度未処分利益剰余金		1,282,925,492	

【図解】貸借対照表（決算書P15～17）

★貸借対照表とは？

貸借対照表は、年度末時点に企業が所有しているすべての資産、負債及び資本を表示する報告書です。

★貸借対照表から分かること

表の左側【資産の部】からは、企業が事業を行うために所有している資産の残高を知ることができます。
表の右側【負債の部】及び【資本の部】からは、資産を取得するためにどのように資金を集めたかを知ることができます。

資産は、性質によって「固定資産」と「流動資産」に分かれています。

区分の仕方は、1年間のうちに現金化できるものを「流動資産」、できないものを「固定資産」としています。
この区分のルールを「ワンイヤールール」と呼びます。

★注目ポイント ※カッコ内は前年度数値

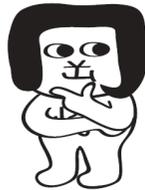
①流動比率（％）＝流動資産÷流動負債×100＝**387.7%**（393.7%）

すぐに支払わなければならないお金（流動負債）を、すぐに支払えるか（現金等の流動資産がどれくらいあるか）を表します。
200%以上が理想的で、指標が高いほど経営が安定していると言えます。
（参考：R3決算類似団体平均値＝246.0%）

②有形固定資産減価償却率（％）＝有形固定資産減価償却累計額
÷有形固定資産のうち償却対象資産×100
＝**42.0%**（41.1%）

有形固定資産の減価償却がどの程度進んでいるか（その資産をどれくらいの期間使っているか）を表します。
指標が高いほど資産の老朽化度合いが高いと言えます。
（参考：R3決算類似団体平均値＝52.2%）

指標を前年度や他の団体と比べることで、現在の経営状況を把握できるのでござるな！



令和4年度岡崎市水道事業貸借対照表
（令和5年3月31日）

【資産の部】		金額（円）	【負債の部】		金額（円）
固 定 資 産		75,824,266,559	固 定 負 債		14,480,385,711
有 形 固 定 資 産		75,208,244,134	企 業 債		13,654,898,861
土 地		3,473,352,891	リ ー ス 債 務		299,302
建 物		4,198,276,450	引 当 金		825,187,548
構 築 物		103,882,086,812	流 動 負 債		3,925,096,095
機 械 及 び 装 置		13,839,827,599	企 業 債		1,373,640,382
車 両 運 搬 具		82,630,851	リ ー ス 債 務		591,823
工 具 器 具 及 び 備 品		97,746,736	未 払 金		2,110,599,081
リ ー ス 資 産		2,620,000	前 受 金		5,478,396
減 価 償 却 累 計 額	△	51,272,375,214	引 当 金		68,245,000
建 設 仮 勘 定		904,078,009	そ の 他 流 動 負 債		366,541,413
無 形 固 定 資 産		16,022,425	繰 延 収 益		21,240,439,326
ソ フ ト ウ ェ ア		16,022,425	長 期 前 受 金		35,633,826,533
投 資 そ の 他 の 資 産		600,000,000	収 益 化 累 計 額	△	14,393,387,207
投 資 有 価 証 券		600,000,000	負 債 合 計		39,645,921,132
流 動 資 産		15,215,939,702	【資本の部】		金額（円）
現 金 預 金		12,946,639,990	資 本		金 47,248,823,322
未 収 金		2,063,701,220	剰 余 金		4,145,461,807
貸 倒 引 当 金	△	2,635,824	資 本 剰 余 金		397,363,717
貯 蔵 品		48,485,316	利 益 剰 余 金		3,748,098,090
前 払 金		159,749,000	資 本 合 計		51,394,285,129
資 産 合 計		91,040,206,261	負 債 資 本 合 計		91,040,206,261

負債は、企業債（借金）に代表されるように、他者に返さなければならない（支払義務がある）お金です。



繰延収益は、資産の取得（配水管の建設等）の際にもらった補助金等、返す必要のないお金です。



資本は、資本金や事業で獲得してきた利益等、返す必要のないお金です。



『お金の使い道』！！
集めたお金が、「どのような状態」で「どれだけ」あるかが分かります。

『お金の集め方』！！
企業が資産を獲得するためのお金を、「どうやって」集めたかが分かります。

【図解】キャッシュ・フロー計算書（決算書P36、37）

★キャッシュ・フロー計算書とは？

キャッシュ・フロー計算書は、対象年度中の現金の増減とその理由を表す報告書です。

令和4年度岡崎市水道事業キャッシュ・フロー計算書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

★キャッシュ・フロー計算書から分かること

損益計算書、貸借対照表からは読み取りにくい、「1年間の現金の流れ」をその理由と合わせて知ることができます。

★注目ポイント

①現金を増やすことはできたか？

まずは現金が増えているか、減っているかを確認します。その後で各キャッシュ・フローを見ると、なぜそうなったのか？を知ることができます。

②「業務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスか？

水道事業を続けるためには、本来の営業活動で得たお金（水道料金）で、水をきれいにするための浄水場や水を配るための水道管の維持管理・更新をしなければなりません。そのためには、「業務活動によるキャッシュ・フロー」は必ずプラスにならなければなりません。

③「投資活動によるキャッシュ・フロー」はどれくらいマイナスか？

現在、多くの水道施設が更新期を迎えており、多額の更新費用を必要としています。施設の更新をすれば「投資活動によるキャッシュ・フロー」は必ずマイナスとなりますが、その規模が重要です。

④「財務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスかマイナスか？

水道事業では、水道料金で稼いだ資金に加えて、お金を借りることで水道施設の更新を行っています。「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入と返済による資金の増減を表し、借りた金額よりも返す金額の方が多ければマイナスに、借りた金額が返す金額よりも多ければプラスになります。

令和4年度のキャッシュ・フロー計算書からは、本来の営業活動で24億円のお金を得て、施設の更新等で28億円、借入金の借入が返済よりも2.2億円多かったから、結果としてお金が1.5億円減ったことが分かるのでござるな。



		(単位 円)
1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	782,925,492
	減価償却費	2,825,859,559
	固定資産除却費	257,208,248
	退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 52,426,380
	賞与等引当金の増減額(△は減少)	4,015,000
	貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 399,892
	長期前受金戻入額	△ 887,961,483
	資本費繰入収益	△ 107,166,911
	受取利息及び受取配当金	△ 7,993,146
	支払利息	177,581,384
	未収金の増減額(△は増加)	△ 34,788,484
	未払金の増減額(△は減少)	△ 503,410,767
	前払金の増減額(△は増加)	143,614,130
	前受金の増減額(△は減少)	5,478,396
	その他流動負債の増減額(△は減少)	△ 7,040,481
	たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 1,636,671
	小計	2,593,857,994
	利息及び配当金の受取額	7,993,146
	利息の支払額	△ 177,590,144
	業務活動によるキャッシュ・フロー	2,424,260,996
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 3,471,443,902
	投資有価証券の取得による支出	△ 100,000,000
	工事負担金による収入	367,818,170
	分担金による収入	209,450,000
	他会計負担金による収入	127,950,453
	県補助金による収入	65,108,216
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,801,117,063
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	964,000,000
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,386,588,738
	一般会計からの出資による収入	647,240,478
	リース債務の返済による支出	△ 574,152
	財務活動によるキャッシュ・フロー	224,077,588
	資金増加額(又は減少額)	△ 152,778,479
	資金期首残高	13,099,418,469
	資金期末残高	12,946,639,990

「業務活動によるキャッシュ・フロー」は、水道事業本来の営業活動で資金を稼げているか？を表しています。



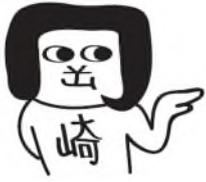
「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、水道施設の更新等、設備投資にどれだけ資金を使ったか？を表しています。



「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入と返済のどちらを多くしたか？を表しています。



よくわかる決算書 用語解説



よくわかる決算書に出てきた専門用語を、
わかりやすく解説するでござる！

か

勘定…………… 取引が行われるつど、資産・負債・資本・収益・費用の5つの要素を用いて記録する。それらの要素を勘定という。
また、例えば資産勘定の中でも、現金や普通預金、建物など中身は細かく分けられる。

キャッシュ・フロー計算書… 現金の増減に関する情報を表示する報告書のこと。(P18 参照)

公営企業会計…………… 官公庁特有の方式である「一般会計」に対して、民間企業と似た方式をとる会計制度のこと。下記の2つの大きな特徴がある。

① 発生主義

現金取引の有無に関わらず、経済活動の発生を記帳のタイミングと考える。

② 複式簿記

一般企業（株式会社など）と同様の記帳方法

正確な経済状態の把握が可能になるメリットがある。

さ

資本的収支…………… 収益や費用には関係ない、資本や負債に関わるお金の流れ。例えば、資産となりうる建物・施設の建設や、企業債の元金償還などが資本的収支に含まれる。
資本的収支は、公営企業会計では4条と呼ばれている。

収益的収支…………… 経営活動に伴って発生する全ての収益と費用を表す。
水道事業でいうと、水道料金や維持管理費などがこれに含まれる。
収益的収支は、公営企業会計では3条と呼ばれている。

損益計算書…………… ある一定期間における企業の経営成績を表示する報告書のこと。(P16 参照)

た

貸借対照表…………… 年度末時点における企業の財政状況を表示する報告書のこと。(P17 参照)

長期前受金戻入… 財源を年数ごとに少しずつ収益にしていく仕組みのこと。
施設等を建設するときには、国や県から補助金をつたり、一部を市民の方に負担していただいたりしている。これらは施設を建設する年にまとめて貰うが、損益計算書には“1年間にかかった費用と収益を載せる”という決まりがあるため、減価償却と同様に、その施設が使える年数に合わせてそれぞれの年に収益を分ける必要がある。

は

引当金…………… 将来発生する費用や損失に備えるために、あらかじめ準備しておくもの。
貸倒引当金や賞与引当金など、様々な勘定科目がある。

負債…………… 企業債や未払金等の借金のような、返す義務のあるもの。
返さなければならない期限が1年未満か1年以上かによって、流動負債と固定負債に分けられる。

負担金（収入）… 例えば愛知県や岡崎市下水道事業などの事業者から水道管工事の依頼を受けた際、事業者に当該工事費用の負担を求めるもの。

分担金…………… 給水装置の新設等で新たに水道管を接続された人に負担いただくもの。水道施設の建設費の財源に充てられる。

補填財源…………… 今までに生じた利益や、費用化されるが当年度現金を支払う必要のない減価償却費などが「補填財源」として管理される。

資本的収入よりも資本的支出の方が大きい場合は、この補填財源で補填しなければならない。

その理由は、資金的な裏付けがあることを確認し、企業がその事業規模を逸脱して拡大・拡張していないかを確認するためである。

ら

流動資産…………… 1年以内など、比較的短い期間で現金にすることができる資産のこと。現金や普通預金、未収金、短期貸付金などがある。

流動負債…………… 企業の本業に関わって生じた支払債務や、1年以内に支払わなければならない債務のこと。

**岡崎市水道事業は、
令和5年度に給水開始から
90周年を迎えました。**

